

図書館を活用した「サポートの必要な家庭」応援事業

サポートの必要な家庭：経済的困窮・社会からの孤立・ひきこもりの問題 など

●子どもが抱える不安

経済的困窮、いじめの問題、将来への不安、**孤独**、学力の低下、**居場所がない**、心の拠り所がない、不登校中退した後の**再チャレンジの機会**の不足、親子関係悩み、自立の機会

●大人が抱える不安

経済的困窮、失業、子育てにかけられる時間の不足や**子育ての悩み**、学び直しの機会の不足、自身の学習・読書・自然体験・自然体験等の経験不足、**社会からの孤立**、介護の負担

知事部局－鳥取県－教育委員会

- ・就業支援
- ・ひとり親家庭支援
- ・子育て支援
- ・こども食堂の活動支援
- ・自立支援

- ・地域未来塾
- ・育英奨学事業
- ・スクールソーシャルワーカーの設置
- ・夜間中学
- ・体験活動推進

県立図書館 ↔ 市町村立図書館 学校図書館等

- ・無料で借りられる本
- ・誰でも来館できる身近な**居場所**
- ・本を読むことで向上する学力
- ・学び直しに役立つ資料の提供
- ・支援団体が活動する場の提供
- ・司書によるサポート・資料相談
- ・ノウハウの共有・サービスの連携

支援団体等

- ・こども食堂
- ・支援NPO
- ・ボランティア
- ・社会福祉協議会
- ・子育て支援センター ほか

SDGs

鳥取県の将来ビジョン

2030年にむけ「図書館、美術館、博物館等の社会教育施設を活用して、県民が学びの活動を続け、学んだことを活かせるボランティア活動や学校での子どもたちと交流するなど、地域で活躍できる機会が充実している」ことを目指しています。

教育に関する大綱

重点取組施策の一つ「時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実」の「子どもが成長する安全・安心な居場所づくり」に沿って「図書館＝居場所」の取組みを進めています。

鳥取県子どもの貧困対策推進計画（第二期計画）

図書館における居場所づくりの推進：「市町村立図書館や学校図書館と連携し、低所得世帯やひとり親家庭等の子どもたちが図書館で居心地よく時間を過ごすことのできるための取組を進め、周知を図ります」と計画しています。

鳥取県立図書館の目指す図書館像（第2次改定版）

館のミッションを実現するための柱「人の成長・学びを支える図書館」の（4）「居場所としての活用の推進」において、「サードプレイスとしての図書館サービス」・「子どもの居場所づくり」を目標として掲げています。

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



※令和3年3月作成